

算数

小学校 第6学年

OS・ソフト等

- ロイロノート
- スタディサプリ
- iPad

<単元・題材名等>

比

ねらい

比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比を作ったりする活動を通して、日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。

主なICTの活用法

【協働学習支援ツール（ロイロノート）】

- ・ 仲間の作った資料や仲間のノートを共有し、学び合う。
 - ・ 作問したものを「共有ノート」で共有し、問題を解き合う。
- 【スタディサプリ】
- ・ 予習や授業内で動画を視聴し、分からないところを仲間と学び合う。また、自分のペースで動画を視聴して学ぶ。
 - ・ 確認テストを行い、自分の理解度を把握する。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 自分に合った学びを様々な選択肢から選択することができる。
- ・ アナログとデジタルを必要に応じて適切に使い分けすることができる。
- ・ 自分の考えを相手に伝えるときのツールとしてICTを活用することができる。

実践の概要

単元の初めに、自分で大まかに単元の内容を把握し、決められた時間数の中で、学習の計画を立てる。その計画表に沿って、個々の学びを進めていく。学ぶ方法や学ぶ内容について、いくつかの種類を用意しておき、学習者がそれを選択できるようにしておく。このように、児童は必要に応じて自己選択しながら、学んでいく。今回は、このような学習の中に、効果的にICT（主に、スタディサプリとロイロノート）を取り入れる方法を提案する。ICTを活用することで、個別最適な学びと協働的な学びをさらに具現化していく。

必要に応じて、日常の事象と関連付けたり、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考えたりする活動を促し、学習内容の理解を深めていく。

児童の学びの様子

- つまづきの見られる児童は、ロイロノート内にある仲間のノートにかいてある線分図を参考にしながら関係を整理し理解を進める姿があった。
- 教科書を見たり、仲間と考えを交流したりしながら学習内容の理解を進める児童がいる一方で、スタディサプリの中にある授業動画を見ながら一人で理解を深める児童がいるなど、学び方も自ら選択しながら、学習を進めることができた。
- 授業の終末段階では、ロイロノートに本時作成したノートや振り返りを提出する活動を通して、自らの学びを調整することができた。



指導のポイント

- 児童が必要に応じてワークシート等の資料を取り出せるようにロイロノート内に準備する。
- スタディサプリの確認テストやロイロノートの共有機能を使って、児童の学習内容の定着状況を把握し、個別支援を行う。